

それは AI ちゃう、 ドラクエ4 や。

～ 兵站を直さずに「おもちゃ」を配る本部。
40年前の作戦で、令和の商売が勝てるか～

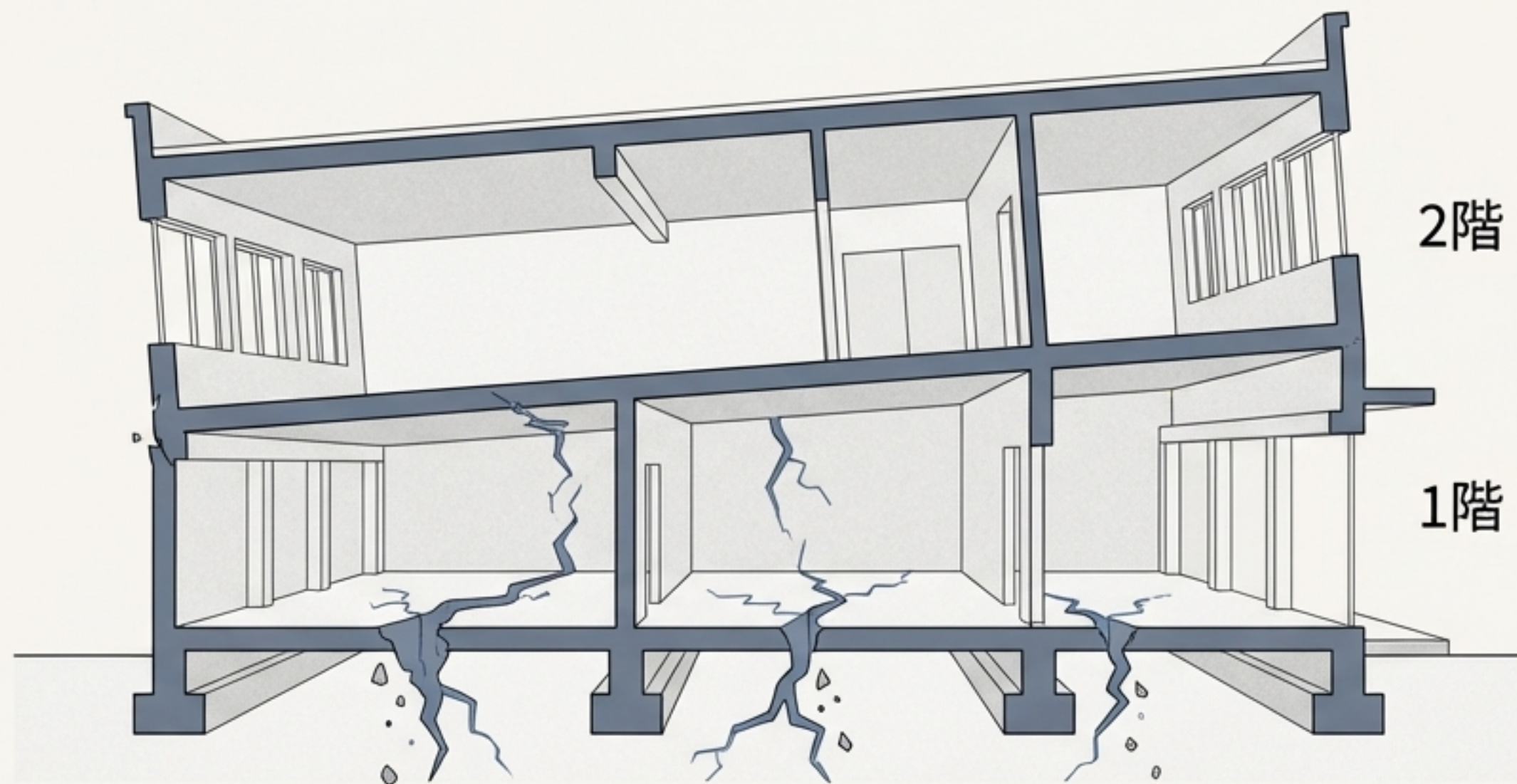


現場のプロが語る、 崩壊したシステムとの戦い。

こんにちは。有限会社吹田総業、代表の吹田です。
前回、コンビニの命である「兵站（物流）」が
崩壊した話をしました。今回はその続きです。
兵站がボロボロの現場に対し、本部がよこした
「ある武器」についてお話します。

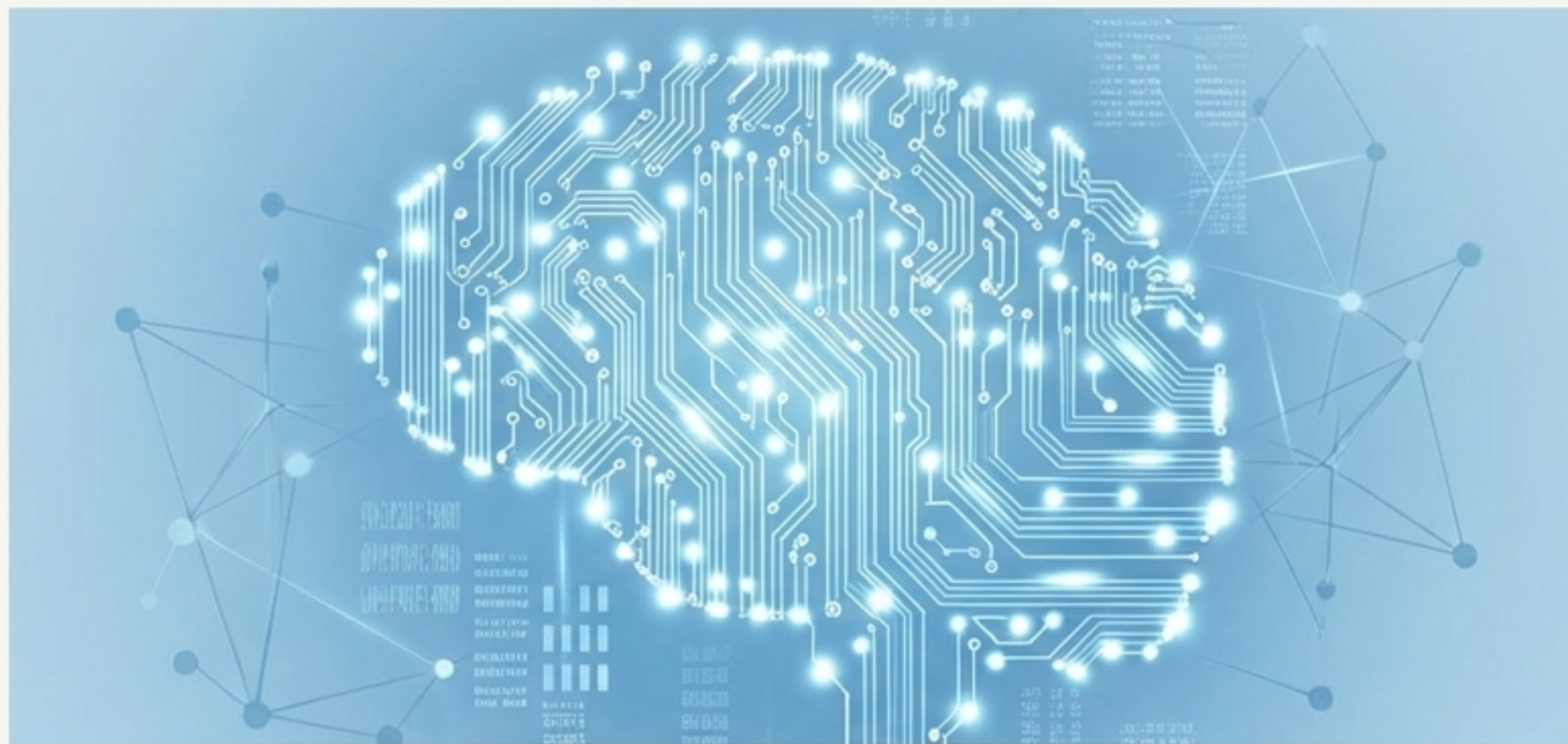
有限会社 吹田総業 代表 吹田 克己

責任の放棄：問題は「兵站」の崩壊。



本来ど、物流が遅れているなら、本部が泥をかぶってでも直すのが筋です。
しかし、彼らはそれを放棄しました。

丸腰の現場

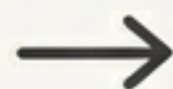


本部が配った「武器」の名は、「AI発注」。

「AIがビッグデータを解析し、最適な発注を弾き出します」

世間の人はいこう思うでしょう。「さすがセブんだ、最新兵器だ」と。
しかし、現場で毎日この画面と格闘している私からすれば、これは最新兵器などではありません。

「AI」という名の「優良誤認」。



**IF 在庫が減ったら
THEN 決まった数だけ足す**

実態は、あまりにも単純な「自動補充プログラム」。ここには商売人に不可欠な「ライブ感」が一切ないのです。

「来週は大雪で客足が止まる」といった危機感が、このプログラムにはありません。

「それは AI ちゃう、
ドラクエ 4 や。」

— 35年前のファミコンゲームを思い出しながら

40年前の作戦： 「ガンガンいこうぜ」の悲劇

本部が「ガンガンいこうぜ（売上重視）」と設定すれば、AIは現場の在庫が山積みだろうが、廃棄が出ようがお構いなしに「納品しろ」と提案してきます。効きもしない呪文を連発する、アホなAIと同じです。

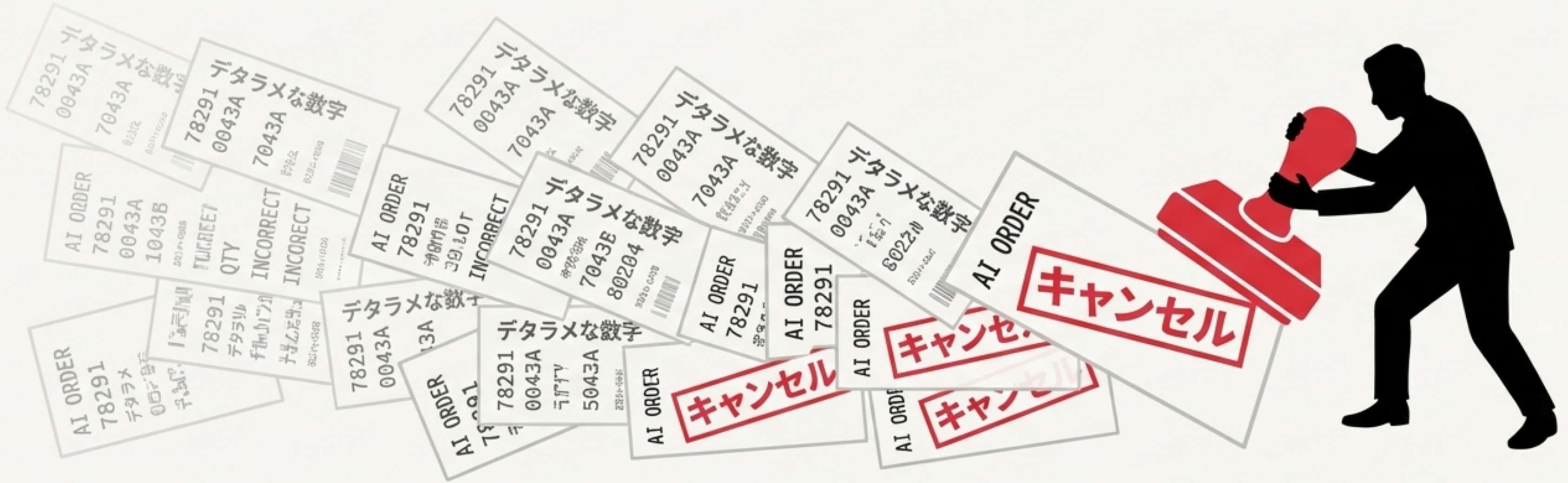


1階の床が抜け落ちようとしているのに…



本部は崩壊した1階（インフラ）を直さず、こう強要している。
「AIというおもちゃを使って、2階でもっと激しくダンスを踊れ！」と。狂っています。

現場を預かる「玄人」の、せめてものの意地。



だから、私たちは自衛するしかない。

私は今日も、ドン・キホーテのように錆びついた槍を頼りに、今ス／錆びついた槍を頼りに、ドラクエAIが弾き出したデタラメな数字を、指が痛くなるまで「キャンセル」し続けます。

この話の続き、そして解決策は。

動画では語りきれなかったディープな経営ノウハウと、
この戦いの記録のすべては、私のオフィシャルホームページにあります。



`http://fkt-office.com/`

私のホームページは上記です。間違えないように！
今すぐ、サイトをチェックしてください。

さらなる「現場のリアル」を知るために。



オフィシャルホームページ

経営ノウハウの全てを公開。



Note「社長の着想日誌」

日々の戦いと洞察の記録。



YouTubeチャンネル

忘れないうちに「チャンネル登録」
と「高評価」を。



「データはAI、決断は社長。」

有限会社 吹田総業
代表 吹田 克己